

2016年7月オープン トットちゃん広場について

安曇野ちひろ公園拡充整備工事の起工式が去る7月24日、無事行われました。来年夏、拡充された公園のなかに、「トットちゃん広場」が誕生します（開園式は2016年7月23日を予定しています）。

広場の中心となる2両の電車のうちデハ二号には、トットちゃんが通ったトモエ学園の教室を再現します。長野県内で廃校となる小学校から、古い黒板やオルガンなど学校の家具や備品をいただくことも決まり、それを活かしてよりリアリティのある教室づくりを目指します。また、教室の机と椅子は地元の池田工業高校の先生と生徒さんたちが授業のプログラムのなかでこれから10ヶ月をかけて製作して下さることになりました。

もう1両のモハ二号は、電車の図書室に生まれかわります。世界中で出版されている『窓ぎわのトットちゃん』の翻訳本をはじめ、ユニセフ親善大使で世界中をまわるなかで黒柳館長が会った、さまざまな状況下にいる子どもたちの姿も、写真等でご紹介する計画です。

世界中の子どものしあわせと平和を願う思いを共有し、その輪を未来につなぐ「トットちゃん広場」。楽しみにお越しくださいますようお願いいたします。



トットちゃん広場完成イメージ図  
(建物はトモエの講堂を模した休憩所)



4月29日 トットちゃん広場オープン  
イベントとして、『窓ぎわのトット  
ちゃん』のなかのエピソードにちなん  
だ「飯盒すいさんの会」を開催。



9月22日 電車の教室特別見学会

支援会員のみなさまへごあいさつ

昨年も、ちひろ美術館に篤いご支援をいただき、ありがとうございました。

おかげさまで、いわさきちひろの没後40年を迎えた2014年は、ちひろゆかりの方々の証言集『ちひろさんと過ごした時間』や、ちひろ美術館の全体像を紹介する『まるごちひろ美術館』を刊行した他、長年愛されつづけている『窓ぎわのトットちゃん』をさらに広く楽しんでいただこうと、『絵本 窓ぎわのトットちゃん』も出版されました。

今日の騒然とした日本で、私たちは絵本を親子で眺めたり、美術館でゆったりとした時間を楽しむ余裕が少なくなってきているように思います。映画や演劇、その他の文化活動も同様の状況ですが、私たちは、幼いころから子どもたちが美術館と親しみ、絵の鑑賞を楽しむことができる環境として、ファーストミュージアムの活動にも力を入れています。

「戦場にいかなくても戦火のなかで子どもたちがどうしているのか、どうなってしまうのかよくわかるのです」と語ったちひろさんが、生涯、子どもを描きつづけたのは、自身の戦争体験から、世界中の子どもが二度と戦禍にみまわれることのないように、という強い願いでした。ちひろ美術館は、その願いを受け継いで戦争のない平和な未来に、すべての子どもたちが等しく安全で健康に教育を受け、文化を楽しむことができることをめざして、活動していきます。

今年に入ってから、支援会員のボランティア活動もスタートしました。どうぞ、これからも、ちひろ美術館をご支援いただければ幸いです。

2015年10月吉日



公益財団法人  
いわさきちひろ記念事業団  
理事長

山田洋次



ちひろ美術館(東京・安曇野)  
館長

黒柳徹子

■寄付者一覧

2014年4月1日～2015年3月31日の期間中、寄附者のなかから、お名前を公表をご許可くださった皆さまをご紹介します(敬称略・五十音順)。  
相澤裕子、赤枝操、赤羽茂乃、阿部圭子、伊藤幸一、井土都貴子、大木義子、大谷真知子、大野絹枝、岡敬子、岡本育子、小山内美江子、柏いつ、加藤建、菊地勝幸、菊地淳一、北沢秋恵、倉科嘉夫、栗原真知子、小出節子、河野のリ子、後藤忠昭、虹釜和昭、小林克知、小松宏江、佐伯智子、佐伯めぐみ、坂田佳美、佐藤勝美、佐藤卓、佐藤忠仁、澤田淑子、白石浩、白川光雄、祐定美枝子、鈴木賢二、鈴木裕子、鈴木真寿子、砂田規之、千田幹雄、高野恵美子、高野泰子、高橋英子、瀧口恵子、田口弘美、武井一二三、竹内希衣子、武田登志子、田中正美、田中美恵子、田中恵、田村博康、田村裕子、近松美喜子、柘植千枝子、坪田慶子、中島和枝、中島啓幸、中村収、中村秀雄、中村由美、成瀬節子、西尾泰広、西尾路子、仁衛琢磨、林正、古川勤、星野宏子、本多孝子、本間久幸、前田直美、松浦泰二、松崎千春、松田和子、松原清、松本恭子、水島正義、水野茂幸、宮下和也、宗本哲司、村上耕平、村松敏夫、森江さつき、柳沢清美、山内和子、山内佐恵子、山形有里、山口智徳、山崎均、山領まり、芳岡伸行、吉岡正俊

■公益財団法人いわさきちひろ記念事業団は、次のような目的をもって活動しています。

子どものしあわせと平和を願いつづけた絵本画家いわさきちひろの業績を記念し、文化の民主的発展に寄与する活動をおこなう。  
散逸しやすい絵本の原画を人類の文化遺産と位置づけ、絵本芸術等に関する資料を収集・保管・展示して教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業をおこない、あわせて、これら資料に関する調査研究をおこなう。  
(「公益財団法人いわさきちひろ記念事業団定款」より抜粋)

ちひろ美術館・東京  
安曇野ちひろ美術館

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 TEL. 03-3995-0612 FAX 03-3995-0680  
E-MAIL chihiro@gol.com  
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24 TEL. 0261-62-0772 FAX 0261-62-0774  
E-MAIL chihiroa@seagreen.ocn.ne.jp

<http://www.chihiro.jp/>

2015年10月発行

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 支援会員制度  
2014 活動報告書



いわさきちひろ 花の国の子どもたち 1964年

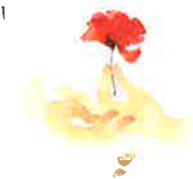
支援会員の状況 (2014年4月1日～2015年3月31日)

- 会員数：有効会員数268人(新規60名、継続203名)
- 支援会費：1,478,000円  
＜参考データ：2013年度 有効会員数 293人(新規80名、継続213名) 支援会費1,610,000円＞
- 支援会費の使途： 絵本原画の収集・保存・研究・展示公開、絵本の普及、国内外での絵本文化支援の活動等に充当させていただきました(詳細はp.2-4をご覧ください)。
- 税制優遇について： 当財団のご寄附については「税額控除」または「所得控除」のいずれか有利な方法を選択して寄附金控除を受けることができます。控除を受けるためには、確定申告が必要です。詳しくはお住まいの管轄の税務署にお問い合わせください。

支援会員の輪を広げてください。

ちひろ美術館の支援会員制度について、ぜひお知り合いにご紹介ください。詳しいご案内やチラシをご希望の方は、希望部数と送付先(お名前、ご住所、お電話番号)をお知らせください!

申し込み先：ちひろ美術館・東京 支援会員制度担当  
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2  
TEL. 03-3995-0612 FAX 03-3995-0680  
E-MAIL chihiro@gol.com



安曇野ちひろ美術館 | ちひろ美術館・東京

## 2014年度活動報告書

支援会員のみなさまには日頃より当財団の活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。2014年度は、公益財団法人へ移行して2年目、いわさきちひろの没後40年という記念すべき年でした。主だった活動について、ここにご報告申し上げます。

### 1. 美術館の設置・運営

■来館者総数 ちひろ美術館・東京：46,966人(前年度比97.7%) 安曇野ちひろ美術館：141,819人(前年度比95.5%)  
188,785人(前年度比96.0%)

### 2. 展覧会

#### ■ちひろ美術館・東京での展覧会

- 3月1日～5月18日 ■ちひろ没後40年ー世界中のこどもみんなに平和とあわせをーちひろの願い
- <企画展>ーPaper Talks 紙のおしゃべりークヴィエタ・パツオウスカー展(1)
- 5月21日～8月3日 ■ちひろ没後40年 ちひろになれる!7つの法則ー技法徹底解剖ー(2)
- ちひろ美術館コレクション びっくり!絵本水族館(2)
- 8月6日～11月3日 ■<企画展>いわさきちひろ×佐藤卓展ーはじめてみる、ちひろの世界。ー(3)
- 11月6日～2015年1月31日 ■<企画展>夢二からちひろへー子どもの本の先駆者たちー(4)



#### ■安曇野ちひろ美術館での展覧会

- 3月1日～5月13日 ■ちひろ没後40年 絵本になった!『窓ぎわのトットちゃん』展
- ちひろ美術館コレクション 絵本・のりもの博覧会
- 5月16日～7月22日 ■ちひろ没後40年 ちひろの愛したアンデルセンと宮沢賢治
- ちひろ美術館コレクション 世界の画家たちの愛したアンデルセンと宮沢賢治
- <企画展>ブラジルからやってきた!色彩の画家 ホジェル・メロ展(5)
- 7月25日～9月16日 ■ちひろ没後40年 ちひろの歩みー平和を願い子どもを描き続けた画家ー
- ちひろ美術館コレクション びっくり!絵本動物園
- 9月19日～11月30日 ■ちひろ没後40年 ちひろの絵本づくりー表現の可能性を求めてー
- ちひろ美術館コレクション 絵本に耳をかたむけて
- <企画展> 聖コージズキンの誘惑展(6)



#### ■他館と提携する展覧会

- 7月18日～8月24日 : 岡山シティミュージアム「没後40年 いわさきちひろ展」
- 4月26日～6月1日 : 福島県立美術館「ちひろ美術館コレクション展 世界をめぐる絵本の旅」(7)
- 8月2日～8月31日 : 高鍋町美術館「ピエゾグラフィによる いわさきちひろ展」
- 9月27日～10月26日 : 白鷹町文化交流センター「あゆむ」
- 「ピエゾグラフィによる いわさきちひろ展ー子どもの幸せ みんなで楽しむ絵本の世界ー」



### 3. 作品・資料の収集、保存、並びに、調査、研究

#### ■作品収集

2014年度、新たに17点の作品を収蔵  
いわさきちひろ=9,446点  
世界の絵本画家(世界33の国と地域・203人の画家)=17,315点  
合計26,761点(2015年3月31日現在)

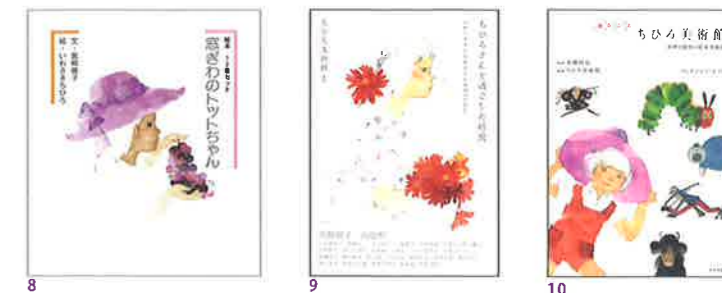


いわさきちひろ 寄贈作品 『ね、おはなしよんで』(童心社)より  
バク・チョルミン(韓国) 購入作品 『キュリの美術館』

#### ■調査研究

当財団におけるこれまでの活動、理念、研究の集大成を3冊の書籍にまとめることができました。

- 『絵本 窓ぎわのトットちゃん』(講談社)(8)
- 『ちひろさんと過ごした時間』(新日本出版社)(9)
- 『まるごとちひろ美術館』(東京美術)(10)



### 4. 教育活動

親と子が楽しめるワークショップの開催、近隣の小中学校・図書館・公民館等と提携しての体験学習の受け入れ、出前授業・出前講座等、様々な絵本の教育活動・普及活動を行い、地域連携を一層深めました。



東京館:4月20日 クヴィエタ・パツオウスカー展関連トークイベント「チェコの文化と子どもの本の魅力」と対談の集い(右から:内藤廣、黒柳徹子、山田洋次)  
講談社講堂:5月22日 絵本『窓ぎわのトットちゃん』朗読  
安曇野館:6月21日 絵本作家ホジェル・メロの世界を楽しむブラジルのタペ(長野県のパラジル入学校のみなさん)  
安曇野館:9月20日 聖コージズキンの誘惑展 関連ワークショップ「ズキンDEパレード」

### 5. 普及活動

自治体や学校、図書館、平和団体、病院等と連携し、ちひろの平和の絵本や複製画、平和パネルを通して、ちひろの平和への思いを普及する活動を積極的に推進しました。



津田ホール:1月15日「感じる、気づく、そして未来を考えるー表現者が問いかけるものー」

安曇野館:6月11日～8月17日 地元中学校との提携活動 中学生ボランティア  
埼玉医科大学総合周産期母子医療センター

### 6. 国際交流

- 5月30日～6月4日 : シンガポールにおける AFCC アジア子どもコンテンツフェスティバルへの参加・講演
- 10月5日～11月6日 : タイにおける ちひろと日本の絵本展と講演会、ギャラリートーク、など(11)
- 11月29日 : インドにおけるBOOKAROOでのいわさきちひろ水彩技法のワークショップ(12)



### 7. 支援活動

#### ○被災地支援

- ・東日本大震災の被災証明を提示した来館者は、全員無料に。
- ・館内で被災地支援の義援金を呼びかけ、合計163,889円を寄付(内訳:東日本大震災義援金東日本大震災義援金27,352円、長野県木曾郡南木曾町土砂災害義援金60,720円、広島県大雨災害義援金75,817円)。
- 安曇野ちひろ美術館では、地元松川村の保健センターと協力し、新生児78名に、ファーストブックををプレゼント。(13)



13